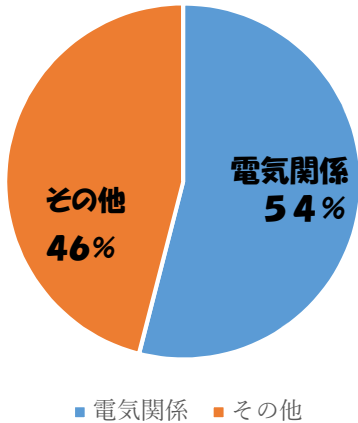


消防かわら版

知っていますか？電気火災。備えて減災！！

東日本大震災における火災発生原因



地震による火災の過半数は電気が原因という事実をご存じですか？

東日本大震災における本震による火災のうち特定されたものの過半数が電気関係の出火でした。

地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災のことです。

(※内閣府防災情報のページから引用)

電気火災対策には、**感震ブレーカー**が効果的です。

地震発生後、避難のために自宅を離れるときは、停電時であってもブレーカーを切りましょう。不在時に電気は復旧したとしても、電気ストーブやヒーターなどの上に落下した布などからの出火を防ぐことができます。また不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合には感震ブレーカーの設置が有効です。

「**感震ブレーカー**」とは、地震発生時に設定以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。(内閣府防災情報のページに感震ブレーカー設置の留意点等や取扱いの留意点が詳しく掲載されています。)

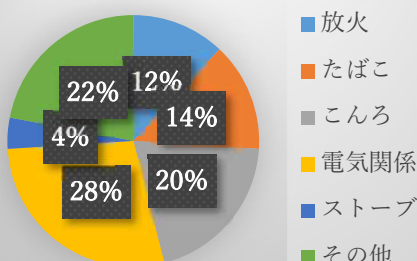


QRコードはこちら→



川崎消防署管内の令和5年9月末までの火災発生状況

火災原因



川崎消防署管内の令和5年中の火災件数は令和5年9月末日で50件、昨年同日比で16件増加しています。

特に電気関係の火災原因が全体の28パーセントと多く、また昨年同日比で8件の増加となっています。

電気火災を予防するためには、タコ足配線をしない事や、コンセント周りのほこりをこまめに掃除する、電気プラグはしっかり差し込む、電気機器を正しく使用するなど心がけましょう！！